

【九和】桂

123 桂木神社



お釈迦さんの山には、鍋地側に四良神社、桂側に天満神社があり、釈迦堂のすぐ横にこの桂木神社がある。

どれも釈迦堂の方向に向かって建てられている。東か南向きの神社が多い中、明らかに方向の違う釈迦堂に向いている。お釈迦様を守るための神様として建てられたと推測される。

桂木神社の祭神は桂木男神、桂木女神、言主神、清麿神、苅田麿神。

持統4年(689)創祀、清麿神、苅田麿神は寛政元年(1789)勧請した。

124 天満神社



桂から釈迦堂へ登っていると、途中に鳥居がある。釈迦堂はお寺なのになぜ鳥居が？実は中腹にある天満神社の鳥居。天満神社は、やはり釈迦堂に向いて建てられている。

桂木神社、四良神社とともにお釈迦さんの守り神だったのだと推測される。

125 宝蔵寺



昭和11年に釈迦如来像が国宝に指定された時から、釈迦堂を管理するようになった。

永平寺を本山とする曹洞宗のお寺で、今治市室屋町にある隆慶寺から分かれたものらしく、隆慶寺6世一空卓浦大和尚が宝蔵寺他多くの寺を開山したのが1600年代。もともとは宝林寺とともに釈迦堂近くにあったようだ。

現在の地にはいつごろ移ったか定かではないが、寛政8年(1796)伽藍を新建立した際に移転したと推測される。現在の本堂は昭和35年に建てられたもの。

126 お釈迦さんと花まつり



2500年ほど前の4月8日はお釈迦様がお生まれになった日で、花まつりと呼ばれている。玉川の釈迦堂でもこの日をお釈迦さんの日とし、釈迦如来像をご開帳してお祝いする。町内外から多くの人たちが釈迦堂へお参りをする。また地元の人たちによってお接待がある。

そんな花まつりの日を紙芝居にして伝えられている。

127 だまされたなにわ節言い



真つ暗な新月の夜、桂部落の山道を通りかかったなにわ節言いが大きな化けものに出会い、そこを通して下さいと頼んでも頭をよこに振って通してもらえなかった。なにわ節を語るから通してほしいと言うと頭をたてに振った。こうしているうちに結局夜が明けてしまい、はけものの正体がわかったというお話。

紙芝居にして伝えられている。